

いにしへの風景そのままに  
自然に感謝する、祭りの心

## 彼岸花祭り

かつての飛鳥京の面影を今も尚とどめる明日香村。古来より人は自然に呼びかけようと祭りを  
行い、集まった人々は心一つに共に語り、食べ、飲んで歌うことで楽しい時を過ごしました、自然  
の恵みに感謝しながら互いの絆を深め合ったものです。彼岸花祭りは、忘れつつある自然への  
感謝と薄れゆく人の絆を取り戻すため、彼岸花の咲く頃、共に集える場を創造しています。さあ、  
みんなで一緒に遊びましょ。

平成22年  
9月18日(土)  
9月20日(月・祝)  
午前10時ごろより

**実施場所** 国営飛鳥歴史公園石舞台地区及び稲渚大字他

**料金** 無料(施設拝観は有料です)

**その他** 雨天時は中止になる場合がございます。また、内容は予告なく変更される場合がございますのでご了承下さい。各会場へは公共交通機関をご利用下さい。案山子コンテスト会場周辺では一部車の通行を規制しています。(18日~20日)

### イベントスケジュール (開始時間は全て予定です)

18 (土) AM10:00~PM4:00 国営飛鳥歴史公園石舞台地区芝生広場  
**神奈備市** 古代の市場を思わせるたずまいを再現。  
飛鳥の特産品をご賞味下さい。

20 (月・祝) AM9:00~PM4:30 橘寺内聖倉殿

### 聖倉殿の特別公開

西陣手織り倭錦、本草木染で作られた聖徳太子尊影三部作を展示いたします。

18 (火・祝) AM10:00~PM4:00 国営飛鳥歴史公園石舞台地区芝生広場  
**自然素材のあそび体験**

20 (月・祝) 竹笛や小型のリース花のペンダントづくりといった自然素材を使ったクラフトを実施します。親子みんなで楽しんで下さい。

19 (日) AM9:00~PM2:30 稲渚地区棚田  
**案山子コンテスト** 今年のテーマは「ふれあい」。  
お気に入りの案山子に投票してね。

※コンテスト会場には駐車場はございませんので公共交通機関をご利用下さい。  
※近鉄飛鳥駅よりコンテスト会場までシャトルバス(無料・随時)が運行されますのでご利用下さい。

PM6:30~PM8:00 国営飛鳥歴史公園石舞台地区あすか風舞台

### 劇団「時空」万葉歴史劇第十弾 「蘇我馬子」~暁を待つ飛鳥京~

百濟から倭国にもたらされた仏像の光を受けて誕生した蘇我馬子。寺院の建立と仏教を核とした国家の建設を目指す、次第に氏族間の争いに翻弄されてゆく。父蘇我稲目の謎の死によって激化する物部氏との抗争。苦悩する馬子は、密かに想いを寄せる物部の娘・布留姫にまで傷を負わせてしまう。



PM1:00~PM3:00 眞神荘(亀形石造物近く)

### 古代ガラス製作体験

古代ガラスインストラクター指導のもと、飛鳥時代のガラス玉作りに挑戦してみませんか?  
参加料:1,000円 お申込み先:飛鳥京観光協会 TEL.0744-54-2362-3240  
FAX.0744-54-2362

20 (月・祝) AM10:30~PM2:40 国営飛鳥歴史公園石舞台地区芝生広場

### 彼岸花運動会

大玉ころがし、二人三脚、大縄飛び、しゅらで人間運びなど、親子で!カップルで!みんなで楽しんで下さい。

AM11:00~PM3:00 国営飛鳥歴史公園石舞台地区芝生広場

### 富本銭ゲーム

富本銭の真ん中の穴にボールを投げ入れてみましょう。  
見事に入れば素敵な景品が当たるかも。



AM11:00~PM12:00 伝板蓋宮跡~国営飛鳥歴史公園石舞台地区

### 飛鳥時代行列

「伝板蓋宮跡」から「石舞台」へ、飛鳥時代の装いに扮した行列が繰り広げられます。  
行列の参加者募集中! 申込締切:9月10日まで  
(定員になり次第締め切ります)  
お申込み先:飛鳥京観光協会  
TEL.0744-54-2362-3240  
FAX.0744-54-2362



PM12:05~PM2:50 国営飛鳥歴史公園石舞台地区あすか風舞台

### 韓国伝統芸能・明日香村伝承芸能公演

迫力満点の韓国パワー!!伝承芸能では、独特のお囃子が耳に残る雨乞いの「南無天踊り」、万葉朗唱、コーラスなど明日香ならではの芸能をお楽しみ下さい。

PM2:50~PM3:10 国営飛鳥歴史公園石舞台地区芝生広場

### 飛鳥蹴鞠

飛鳥時代に中国から伝わったとされる「蹴鞠」を1350年の時を超えて再現。  
蹴鞠体験もお楽しみいただけます。



PM3:10~PM4:00 国営飛鳥歴史公園石舞台地区あすか風舞台

### シャボン玉とパントマイムのショー

〈玉乃屋 泡埴〉

いろんな所からいろんなシャボン玉が飛び出すトリックでいっぱいステージ、子どもからおとなまで楽しめるショーです。むかし江戸時代の中ごろにシャボン玉が初めてポルトガルからやってきました。庶民の間にせっけんがまだ無かった頃ですからみんなビックリ江戸の街で大流行しました。其の時にシャボン玉売りが通りのあちこちでシャボン玉を吹きながら売って歩いたということです。それを当時は「ぶきだま屋」と呼びました。

